

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 28 年8月解析分)

1 今月のトピックス

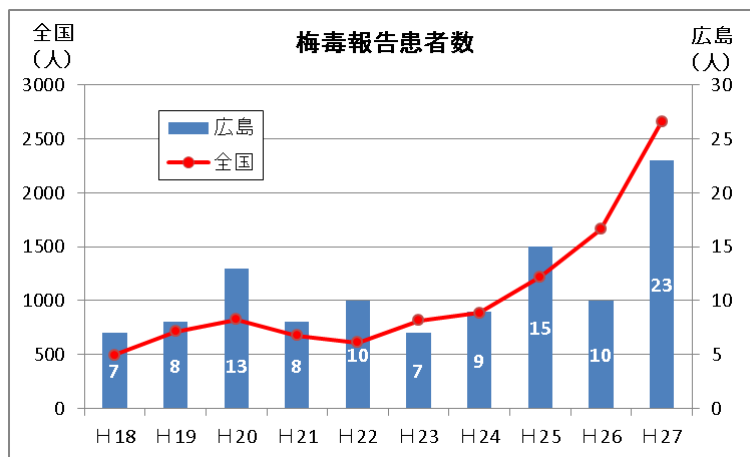
(1) 梅毒の流行について

全国的に梅毒の報告数が増加しています。感染者は男性が多いですが、近年女性も増加しています。

広島県においても、平成27年の報告数は過去10年間で最も多く、23人となりました。さらに本年は、既に7月までに22人の報告があり、このうち20代女性が8人で、全体の3分の1を占めています。

感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受けることが重要です。また、梅毒に感染していたとわかった場合は、周囲で感染の可能性がある方（パートナー等）と一緒に検査・治療を受けるようにしましょう。

梅毒 Q & A [検索](#)



【病原体】梅毒トレポネーマ

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触（主に性的接触）

【予防方法】コンドームの使用。ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染が起こる可能性があります。

【症状】感染したあと、経過した期間によって、症状の出現する場所や内容が異なります。

感染後約3週間： 感染がおきた部位（主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等）にしこりがでることがあります。また、股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節が腫れることもあります。

感染後数か月： 病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹が出ることがあります。（バラ疹）

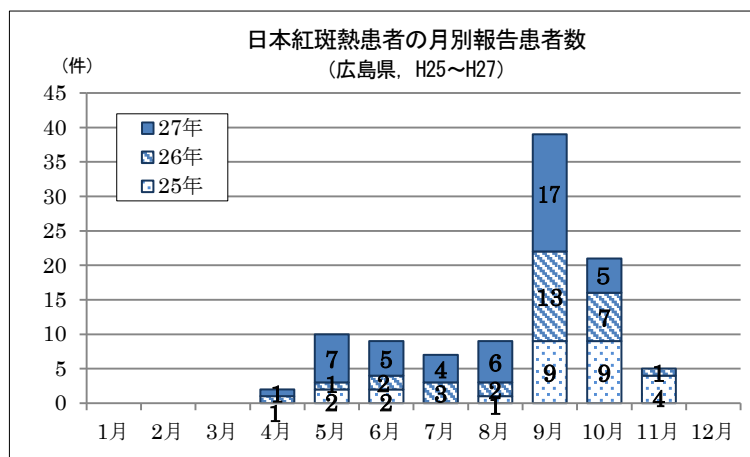
感染後数年： 皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍（ゴム腫）が発生することがあります。また、心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、場合によっては死亡に至ることもあります。

(2) 日本紅斑熱について

広島県内では、例年9月、10月を中心に、日本紅斑熱の患者数が増加します。過去3年においては、この2か月の合計患者数が、1年間に発病する患者数の約6割を占めていました。

肌を露出した軽装での、レジャーや農作業などの野外活動は控えましょう。

日本紅斑熱の感染経路、症状、治療、予防等に関しては、広島県のホームページを御覧ください。



日本紅斑熱 広島県 [検索](#)

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年7月分(平成28年7月4日～平成28年7月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	4	0.01	0.00		11	ヘルパンギーナ	287	1.00	2.39	
2	RSウイルス感染症	90	0.31	0.16		12	流行性耳下腺炎	256	0.90	0.60	
3	咽頭結膜熱	275	0.96	0.67		13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	606	2.12	1.45		14	流行性角結膜炎	54	0.71	0.98	
5	感染性胃腸炎	1,244	4.35	3.94		15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	119	0.42	0.64		16	無菌性髄膜炎	4	0.05	0.06	
7	手足口病	49	0.17	4.91		17	マイコプラズマ肺炎	31	0.37	0.25	
8	伝染性紅斑	135	0.47	0.28		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	129	0.45	0.59		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.02	—	
10	百日咳	15	0.05	0.04							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年7月分(7月1日～7月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	46	2.00	2.44		24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	60	2.86	5.14	
21	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.88		25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	13	0.62	0.59	
22	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.79		26	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.13	
23	淋菌感染症	11	0.48	1.07							

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 なし
- 急減疾患 なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	45	結核(45)〔西部保健所(3),西部東保健所(4),東部保健所(11),広島市保健所(12),呉市保健所(5),福山市保健所(10)〕
三類	5	腸管出血性大腸菌感染症(5)〔広島市(3),福山市保健所(2)〕
四類	10	E型肝炎(1)〔呉市保健所(1)〕,オウム病(1)〔西部東保健所(1)〕,デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕,レジオネラ症(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕,レプトスピラ症(1)〔広島市保健所(1)〕,日本紅斑熱(4)〔西部東保健所(1),東部保健所(1),福山市保健所(2)〕
五類全数	24	アメーバ赤痢(1)〔西部保健所(1)〕,カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)〔東部保健所(1),広島市保健所(3),呉市保健所(2)〕,急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕,後天性免疫不全症候群(4)〔広島市保健所(4)〕,侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕,水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕,梅毒(9)〔西部保健所(1),広島市保健所(3),呉市保健所(1),福山市保健所(4)〕